

岩手県感染症週報

平成27年第10週(3月2日～3月8日)

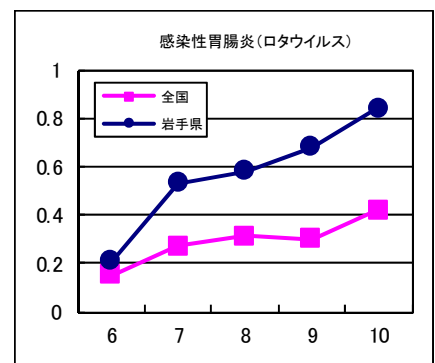
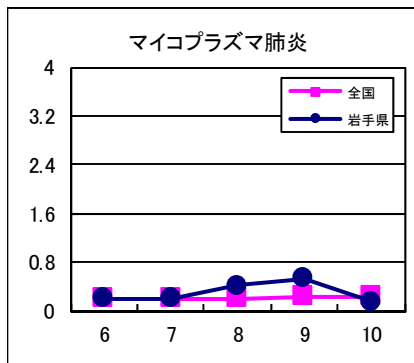
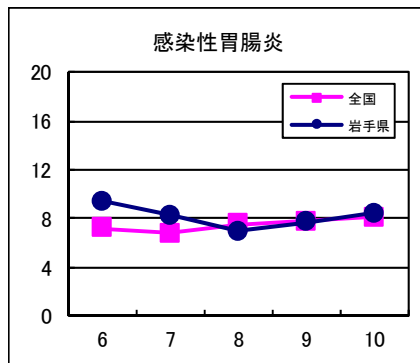
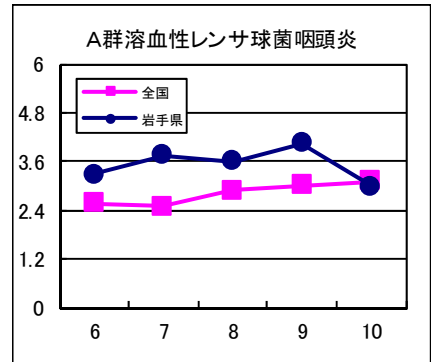
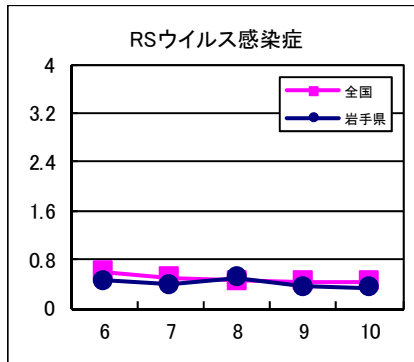
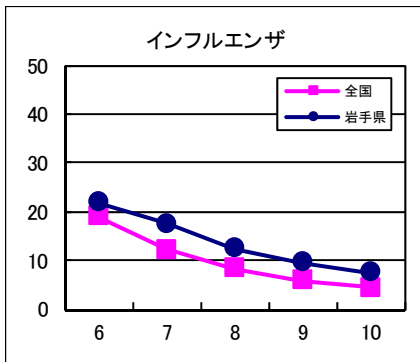
岩手県感染症情報センター

第10週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が1例ありました。潜在性結核の報告はありません。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・A型肝炎の報告が、盛岡市より1例ありました。患者は50歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・感染性胃腸炎は、2週続けて増加しました。地区別では大船渡、釜石および二戸地区で多くなっています。ノロウイルスによる集団感染事例が、一関および釜石地区の保育園で発生しており、集団で生活する施設では感染予防対策の再確認が必要です。予防には、石けんと流水を用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、塩素系消毒剤(ハイター等)による患者の汚物の適切な処理が重要です。
 - ・インフルエンザは、減少が続いています。注意報値(定点あたり患者数10人)を超えている地区は、大船渡、宮古、久慈および二戸の4地区となりましたが、前週より増加している地区もあり、今後とも注意が必要です。
 - ・溶連菌咽頭炎は、前週より減少しましたが、依然として例年より報告数の多い状況が続いています。盛岡市および中部地区で多くなっています。
 - ・クラミジア肺炎は、奥州地区より2例報告がありました。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		6	7	8	9	10		
インフルエンザ	岩手県	21.91	17.43	12.49	9.48	7.42	↘	☆
	全国	19.03	12.15	8.26	5.88	4.32		
RSウイルス感染症	岩手県	0.45	0.38	0.5	0.35	0.33	→	☆
	全国	0.6	0.5	0.45	0.44	0.43		
咽頭結膜熱	岩手県	0.13	0.35	0.13	0.1	0.23	→	☆
	全国	0.31	0.27	0.31	0.29	0.32		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	3.28	3.75	3.6	4.05	2.98	↘	☆
	全国	2.57	2.49	2.88	3.01	3.11		
感染性胃腸炎	岩手県	9.38	8.3	6.98	7.73	8.4	→	☆
	全国	7.22	6.75	7.54	7.81	8.07		
水痘	岩手県	0.48	0.2	0.43	0.65	0.85	→	☆
	全国	0.51	0.47	0.5	0.45	0.51		
手足口病	岩手県	0.03	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.37	0.31	0.3	0.35	0.41		
伝染性紅斑	岩手県	0.53	0.25	0.38	0.35	0.18	→	☆
	全国	0.35	0.3	0.3	0.34	0.37		
突発性発疹	岩手県	0.33	0.53	0.43	0.48	0.4	→	☆
	全国	0.4	0.42	0.43	0.46	0.46		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.13	0.08	0.15	0.1	0.05	→	
	全国	0.23	0.27	0.3	0.28	0.33		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.14	0.14	0.14	0.21	0.21	→	☆
	全国	0.36	0.35	0.4	0.43	0.4		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.21	0.21	0.42	0.53	0.16	→	☆
	全国	0.2	0.21	0.2	0.23	0.23		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0.11	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.21	0.53	0.58	0.68	0.84	→	☆
	全国	0.15	0.27	0.31	0.30	0.42		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	25	13	16	15	11		
	全国	805	550	402	313	257		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		6	7	8	9	10	累計	10	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	3 (1)	5 (1)	12 (8)	5 (3)	1 (0)	35 (16)	367	4024
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	22
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	1	21	190
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	6
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	6
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	35
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	1	1	7	66
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	3
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	1
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	17
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	35
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1	
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	17	208	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		6	7	8	9	10	累計	10	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	10	191
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	32
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	0	21	211
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	4	132
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	33
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1	0	1	4	102
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	2	23	225
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	13
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	1	3	50
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	7
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	2	0	3	38	527
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	2	54
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	31	290
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	21
	破傷風	0	0	1	0	0	1	1	13
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	9
	風しん	0	0	0	0	0	0	3	35
麻しん	0	0	0	0	0	0	2	9	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	1	4	

今注目の感染症

後天性免疫不全症候群

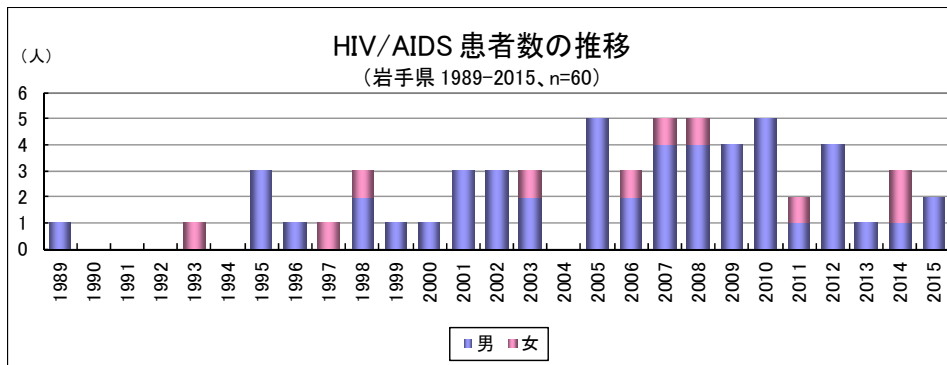
後天性免疫不全症候群(acquired immunodeficiency syndrome:AIDS,エイズ) は、ヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus;HIV) 感染によって免疫不全が生じ、日和見感染や悪性腫瘍が合併した状態、HIV感染症は、HIVに感染した後、無症候性の時期 (無治療で約10年) の状態をいいます。

日本国内の感染動向ですが、HIV感染者は、慢性感染症で特有な症状がないので、生体内でHIV感染が成立しても受診・検査しなければ感染者として把握されず、エイズ発症により初めてHIV感染が判明する例「いきなりエイズ」が多くなっています。岩手県の報告でも、2014年の1例と2015年の2例は、エイズ発症で届出があったものです。

近年、治療薬の開発が飛躍的に進み、早期に服薬治療を受ければ免疫力を落とすことなく通常の生活を送ることが可能となってきました。治療を受けるためにも、早期にHIV感染を発見することが重要です。保健所での検査や相談は→<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/aids/002205.html>

また、自分やパートナーへの感染を予防し、かついわれのない差別や偏見をなくすためにも、AIDS・HIV感染症に関する正確な情報を知ることは非常に重要なことです。

参考 国立感染症研究所 AIDSとは <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/400-aids-intro.html>



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

インフルエンザは、第52週に県全体で定点あたり患者数34.17人と警報値(定点あたり患者数30人)を超え、警報が発令されました。第3週に、26.75人と警報値を下回りました。第4週から第6週まではほぼ同週の報告数となりましたが、その後減少が続き、第9週は、9.48人と注意報値(同10人)を下回りました。第10週は7.42人とさらに減少しました。

患者の年齢層別は、5～9歳が24%、10～14歳が19%と小中学生が多くを占めています。次いで、0～4歳が15%、60歳以上が10%となっています。また学校等休業措置は、3月11日までに346件報告されています。(昨シーズン320件)

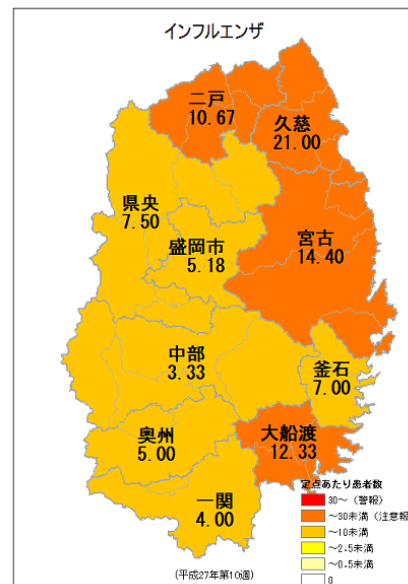
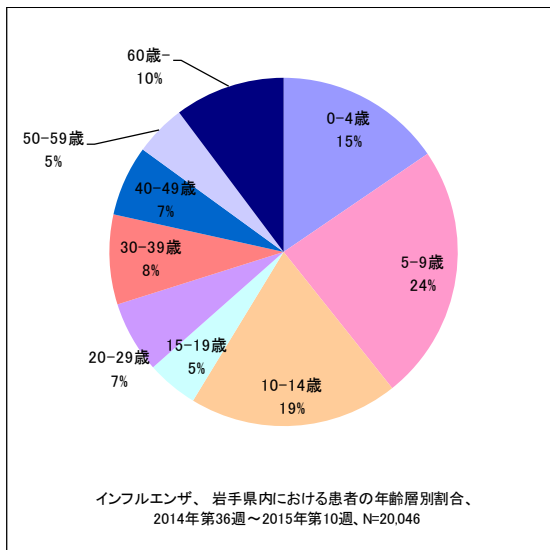
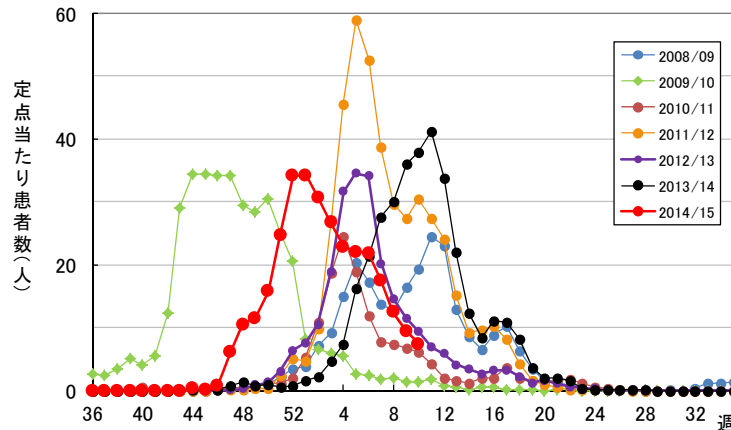
インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。かかったかなと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。発病後5～7日間はウイルスが排出されると言われており、熱が下がってもすぐに登校(出勤)しない、咳やくしゃみがあるときはマスクをするなど、他の人への感染を防ぐことも重要です。

予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット(咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けたときはすぐに手を洗うなど)、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。

厚生労働省HP インフルエンザQ&A

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

インフルエンザ、岩手県(2008/09-2014/15)



今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

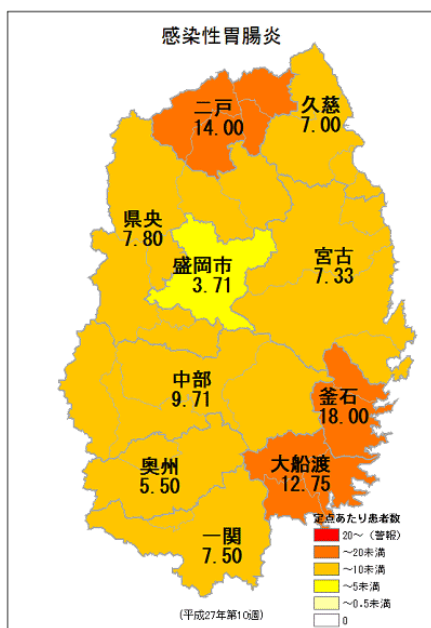
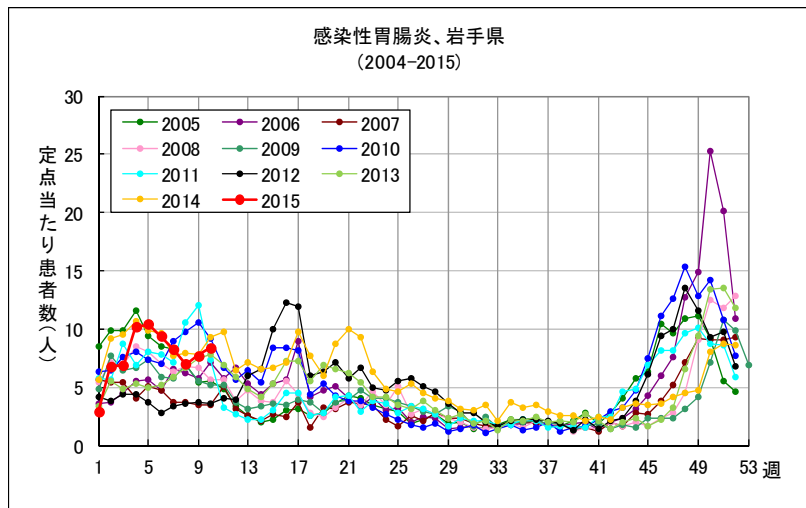
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月から12月にピークを迎えます。2014年は年末までは報告数の少ない状況で推移していましたが、2015年の4週目に増加しはじめ、やや報告数の多い状況が続きました。第8週には減少し例年通りの流行状況です(下図)。2014年11月からこれまでにノロウイルスなどによる集団感染事例が保育園や老人福祉施設で28例、食中毒事例が3例発生しています。

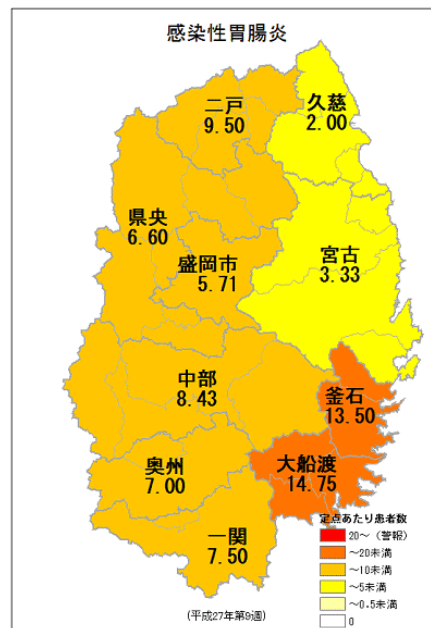
感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が強いため、保育園や幼稚園など集団生活の場では注意が必要です。予防には、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗いと、患者の汚物の適切な処理、食品の十分な加熱(85～90℃で90秒以上)が重要です。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html



第10週



第9週

病原体検出情報

- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス3型を1件、ヒトメタニューモウイルスを1件検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、B群コクサッキーウイルス2型を2件、アデノウイルス3型、ヒトメタニューモウイルスを1件、ライノウイルスを2件検出しました。
- ・熱性けいれんの患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型を1件検出しました。
- ・不明熱の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペスウイルス6型を1件、ライノウイルスを2件、EBウイルスを2件検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、サポウイルスを5件、ノロウイルス遺伝子群Ⅱを4件、パレコウイルスを1件検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス3型を1件検出しました。
- ・流行性耳下腺炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ムンプスウイルスを1件検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

一関市内の保育所（園児数67名、職員数18名）

- ・2月25日（水）から3月6日（金）にかけて、園児21名に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者3名（園児3名）からノロウイルスを確認
- 釜石市内の保育所（園児数80名、職員数18名）
- ・3月3日（火）から3月6日（金）にかけて、園児25名に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者6名（園児6名）から、ノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等休業措置について（3月5日～3月9日発表分）

- ・岩手県発表 2件
- ・盛岡市発表 3件

詳細は岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

医療機関からの情報

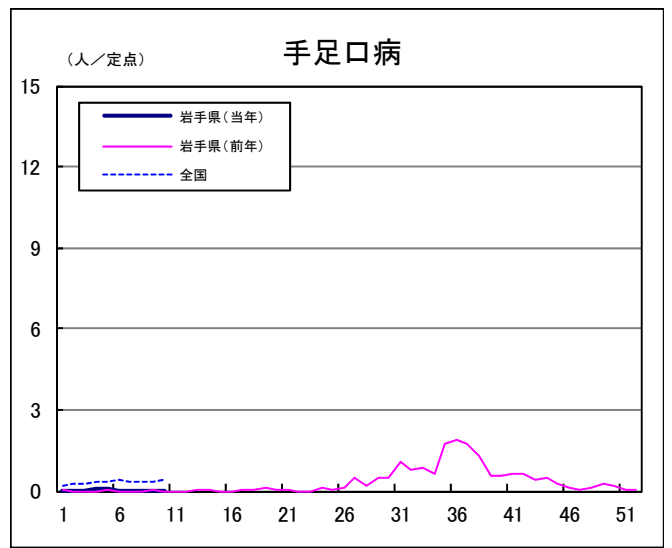
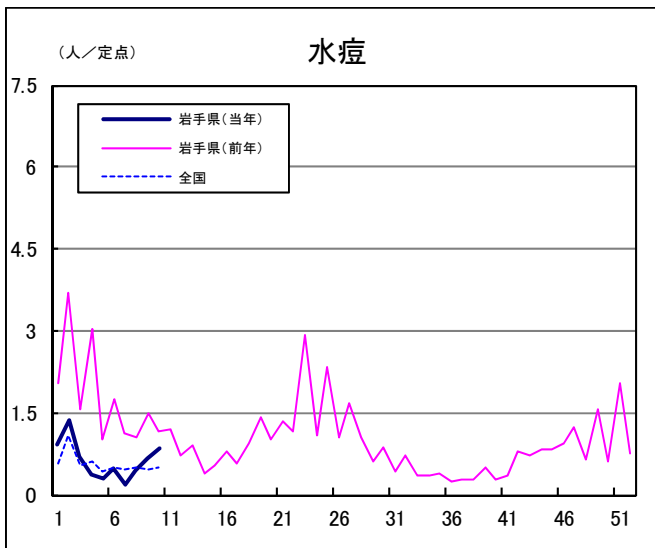
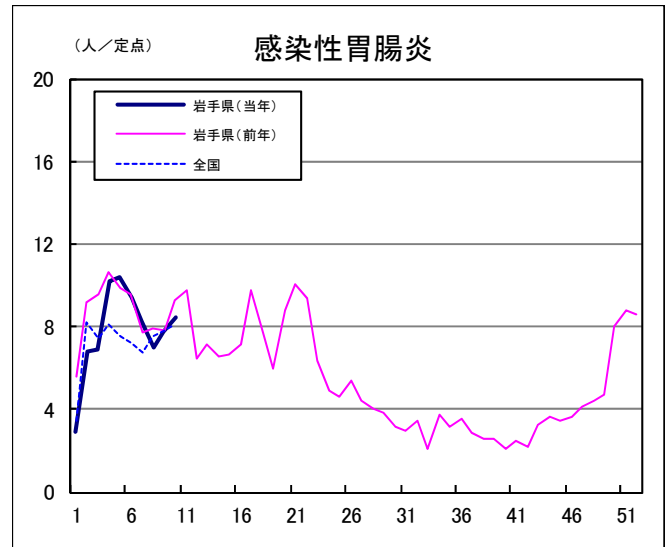
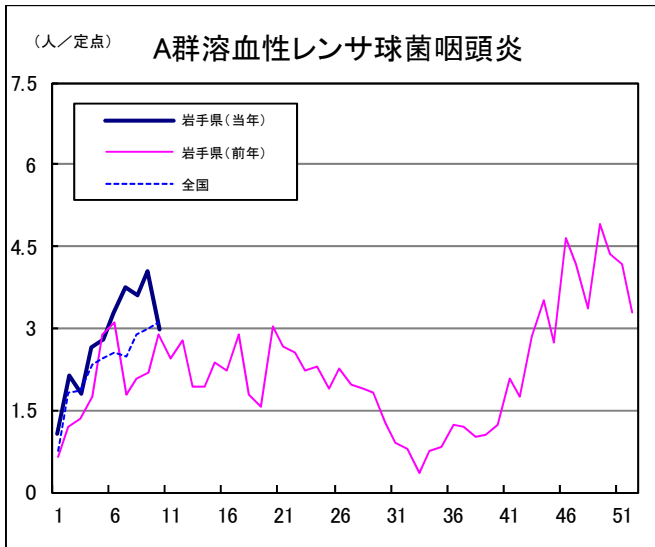
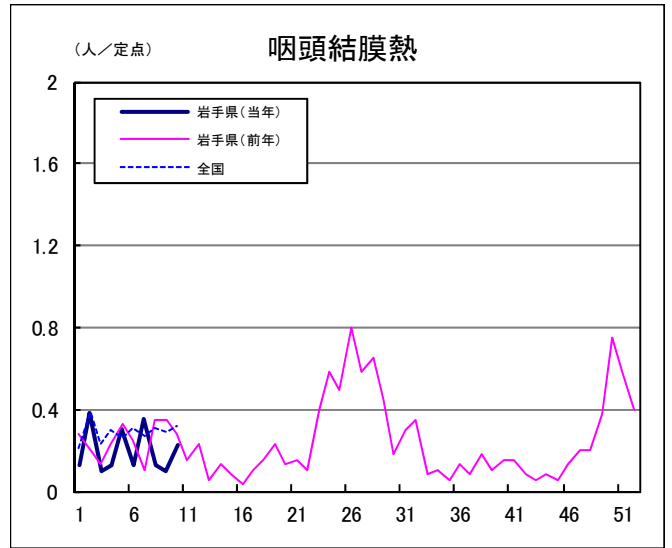
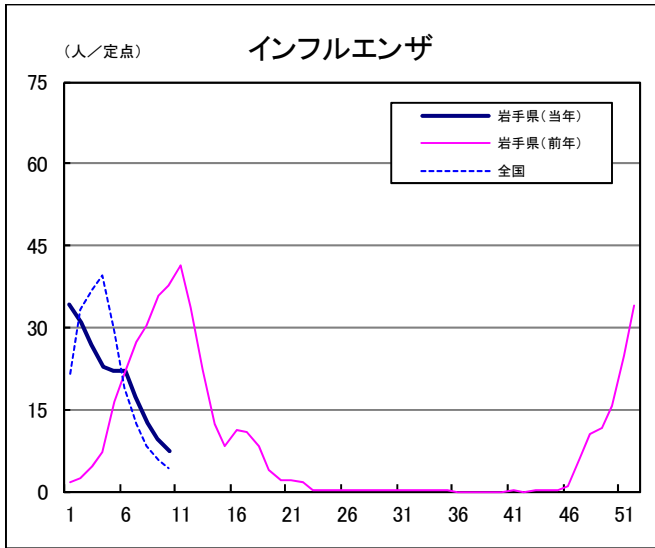
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

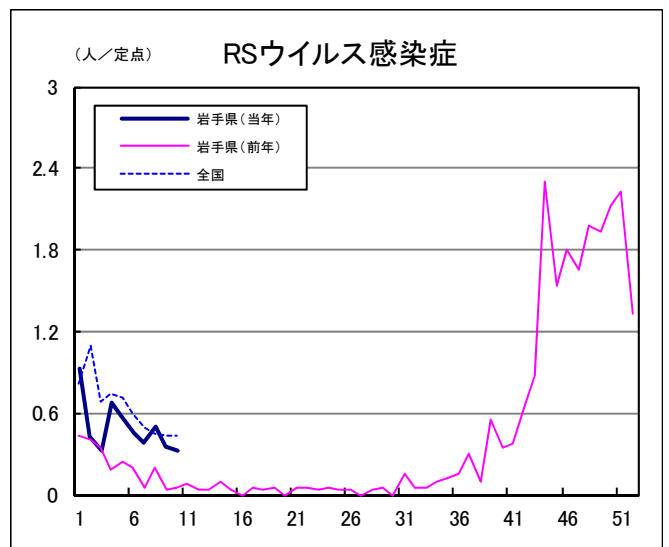
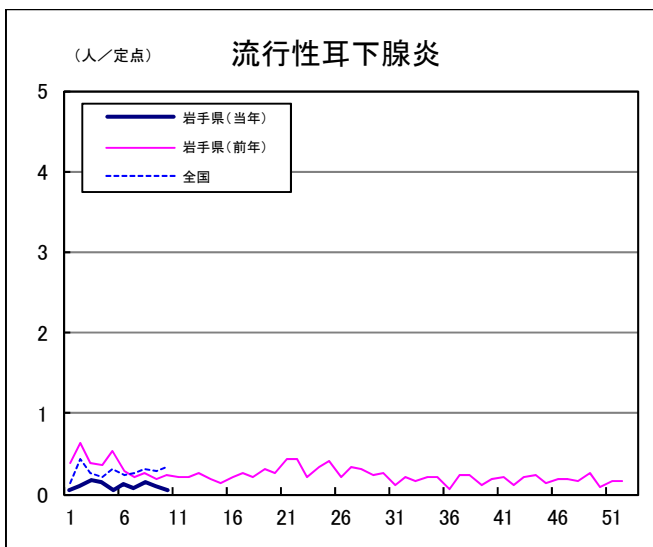
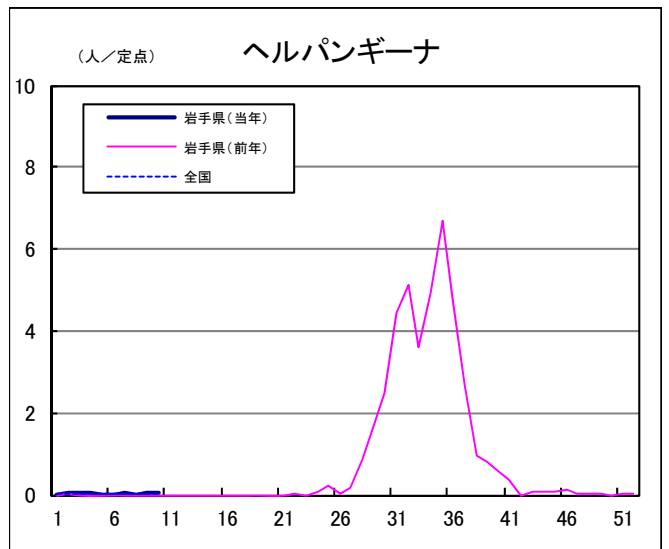
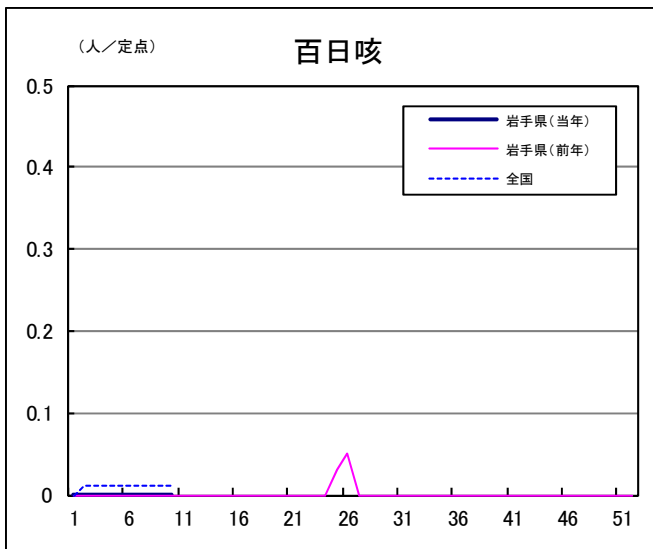
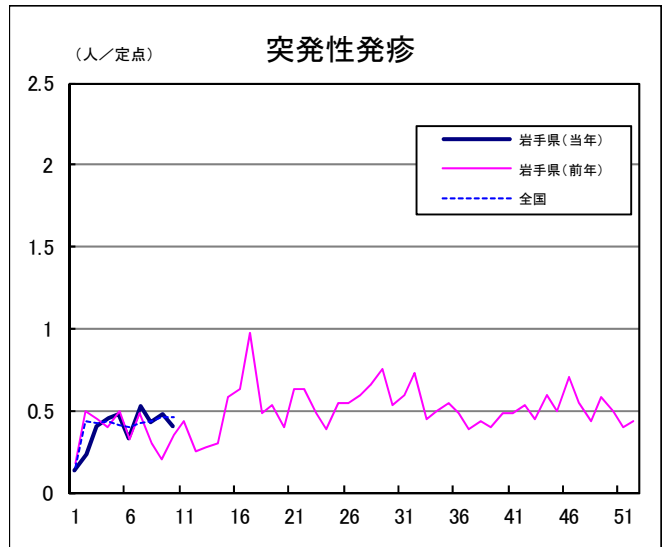
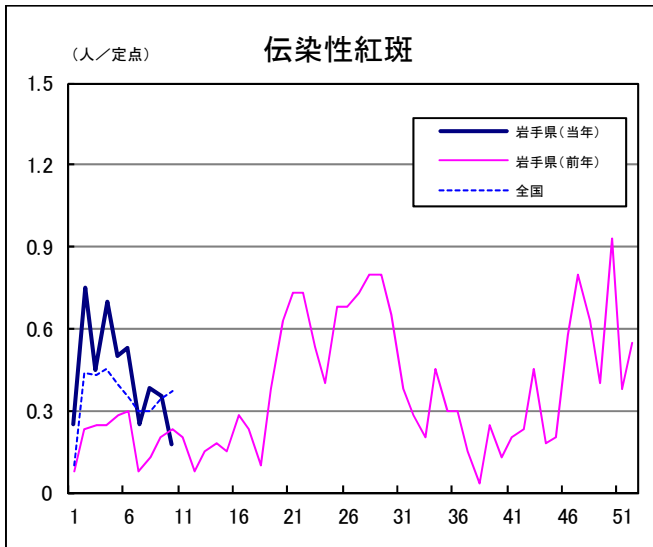
Q & A

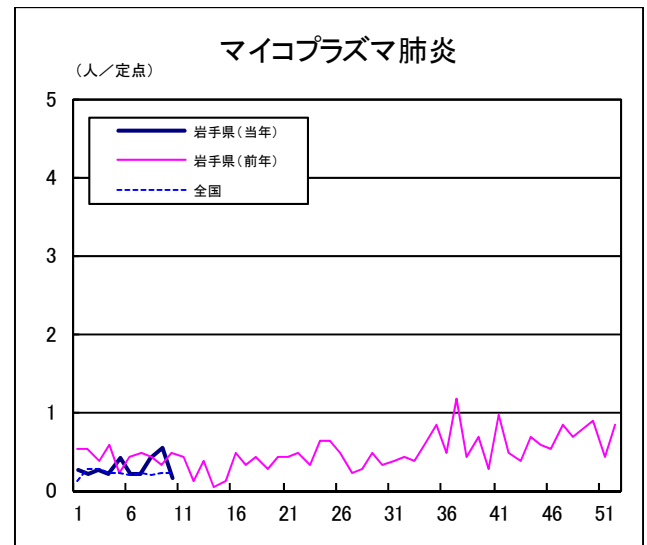
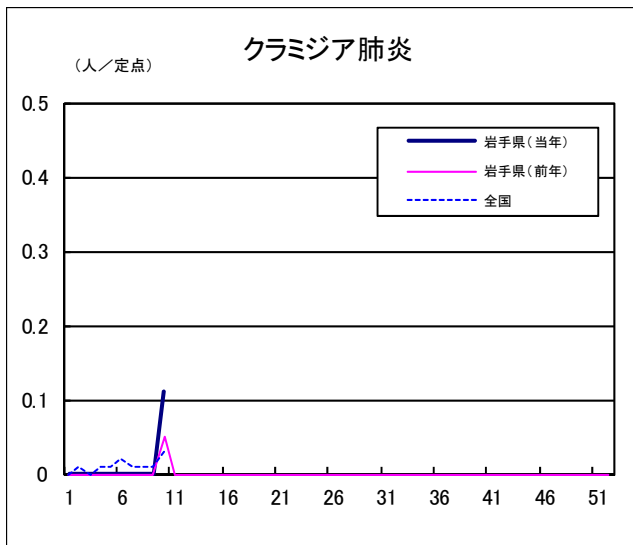
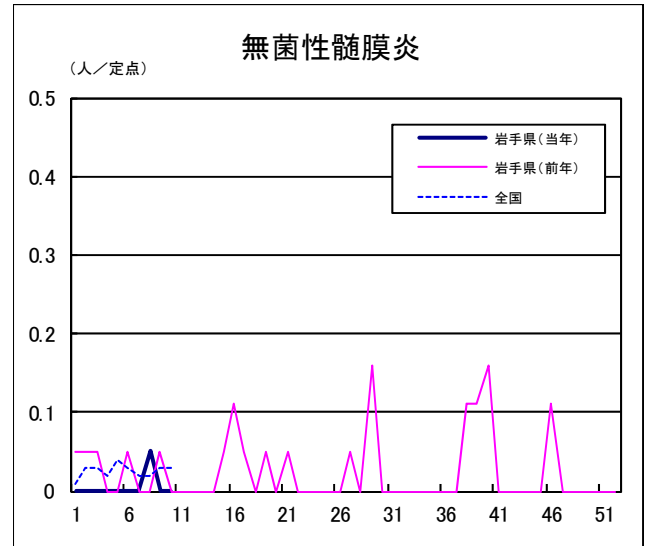
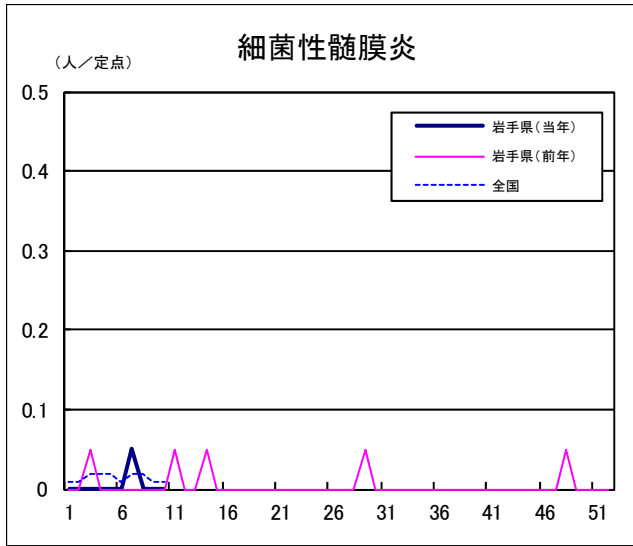
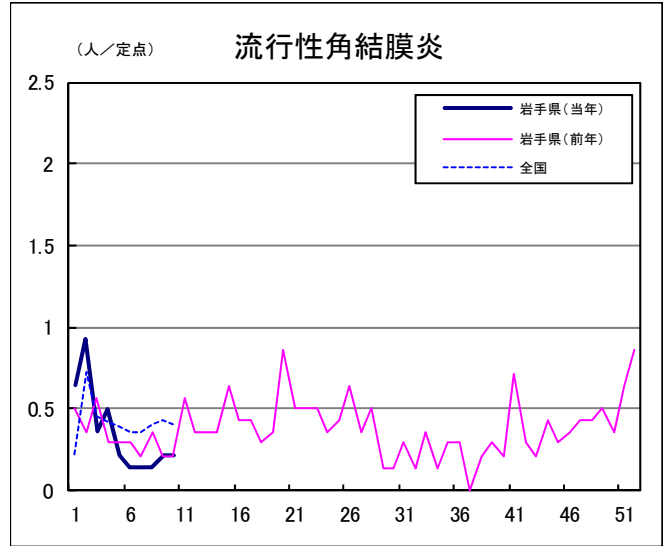
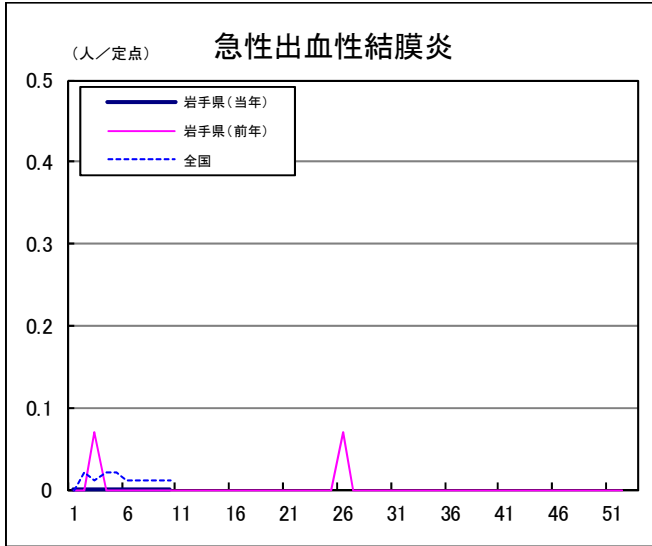
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフルエンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第10週 平成27年3月13日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/jouhou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>